

京都市交響楽団
第677回
定期演奏会

〈常任指揮者 就任披露演奏会〉
第14代常任指揮者の誕生!
記念すべき2023シーズンの
開幕です!

フライデー・ナイト・スペシャルは
いつもと違う!

～気軽にオーケストラ・サウンドが楽しめる、
それが〈フライデー・ナイト・スペシャル〉!～

- ★ 夜7:30開演なので、仕事帰りにも行きやすい!
- ★ 休憩なし、約1時間のプログラムで早く終演!
- ★ 土曜日公演とは違う親しみやすい曲のセレクトで、
🎵・🎵2日間とも楽しめる!
- ★ リーズナブルな料金設定で来場しやすい!

フライデー・ナイト・スペシャル

2023 4/14(金) 4/15(土)
午後7時30分開演 午後2時30分開演
(午後6時30分開場) (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Fri, April 14, 2023 / 7:30PM
Sat, April 15, 2023 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

開演前
(4/14金公演=午後7時ころから/
4/15土公演=午後2時ころから)
は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上
にて開催します。

The 677th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra
京都市交響楽団



指揮: 沖澤 のどか(常任指揮者)
Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

4/14(金)公演 **フライデー・ナイト・スペシャル** 休憩なし・約1時間プログラム
Fri, April 14 <Friday Night Special> about 1 hour with no intermission

モーツァルト: 歌劇「魔笛」序曲
メンデルスゾーン: 序曲「ルイ・ブラス」 作品95
メンデルスゾーン: 交響曲 第4番 イ長調 作品90 「イタリア」
Mozart: "Die Zauberflöte", opera K.620 - Overture
Mendelssohn: Ruy Blas, Overture op.95
Mendelssohn: Symphony No.4 in A major op.90 "Italienische"

4/15(土)公演 Sat, April 15

メンデルスゾーン: 序曲「ルイ・ブラス」 作品95
メンデルスゾーン: 交響曲 第4番 イ長調 作品90 「イタリア」
ブラームス: 交響曲 第3番 ヘ長調 作品90
Mendelssohn: Ruy Blas, Overture op.95
Mendelssohn: Symphony No.4 in A major op.90 "Italienische"
Brahms: Symphony No.3 in F major op.90

入場料 2023.2.17(日)から発売

4/14(金)公演 **フライデー・ナイト・スペシャル**
¥4,000円 ¥3,500円 ¥3,000円 ¥2,000円 ¥1,500円 (舞台後方席)
4/15(土)公演
¥5,500円 ¥5,000円 ¥4,000円 ¥3,000円 ¥2,000円 (舞台後方席)

「U22」(当日残席がある場合のみ発売)

4/14(金)公演 **フライデー・ナイト・スペシャル** ¥1,500円 ¥1,000円 ¥500円 ¥500円
4/15(土)公演 ¥2,000円 ¥1,500円 ¥1,000円 ¥1,000円

※ 22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお問い合わせください)。
電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。
ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。



チケット
ご予約

- 京都コンサートホール (075) 711-3231
- ロームシアター京都 (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード227-668
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード52317

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

※未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

- ◆ 1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2023年4月7日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受付を中止させていただく場合もございます。
- ◆ 10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆ 障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛: ローム株式会社

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



新 常任指揮者お披露目プログラムのテーマは「ドイツ」です。東京藝術大学卒業後、ベルリンに移住。ベルリン・フィル首席指揮者K.ペトレンコのアシスタントを務め、クルト・マズアの最後の弟子の一人である沖澤にとってルーツとも言えるドイツ音楽。その中から厳選した曲をお聴きください。メンデルスゾーン作曲の序曲「ルイ・ブラス」。ヴィクトル・ユゴーの戯曲上演に際し作曲を依頼され、依頼主の態度と戯曲の内容が好きではなかったという理由から、たった3日間でさっと書き上げたそうです。交響曲第4番が「イタリア」という愛称で呼ばれるようになったのはイタリア旅行中に作曲を始めたからだとか。そして完成はなんと3年後。メンデルスゾーンは「ルイ・ブラス」とは違って4番の交響曲には時間をかけたようです。そして、プログラム後半はブラームス「交響曲第3番へ長調作品90」をお聴きいただきます。4曲あるブラームスの交響曲の中でひととき異彩を放つ3番。長調なのか短調なのか、熱く高揚しているのに消えるように終わるエンディング…という具合に3番だけに見られる心の揺れ動きが抒情的に奏でられます。マエストロ沖澤のタクトはいかにそれを表現するのかご期待ください！



The 677th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

指揮

沖澤 のどか (常任指揮者)

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞及び聴衆賞を受賞。2018年には東京国際音楽コンクール(指揮)でも優勝(及び特別賞、齋藤秀雄賞を受賞)。2020年から2022年6月末までベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコのアシスタント。2022年3月、連邦大統領の招きでベルリン・フィルのウクライナのための連帯コンサートを指揮。2022年5月ペトレンコとともにカラヤン・アカデミー50周年記念公演に出演。ミュンヘン交響楽団2022/23シーズンのアーティスト・イン・レジデンス。2022/23シーズンはメルボルン響、BBCウェールズ・ナショナル管、MDR響、トーンキュンストラ管との定期公演デビューのほか、N響、読響、新日本フィル、東響、日本フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢へも定期的に客演している。2022年8月、セイジ・オザワ 松本フェスティバル2022でロラン・ペリー演出によるモーツァルトの歌劇『フィガロの結婚』を指揮してサイトウ・キネン・オーケストラへデビュー。N.ヤルヴィ、P.ヤルヴィ、K.マズアなど数多くのマスタークラスを受講。2019年と2020年のリカルド・ムーティ「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」指揮受講生。オーケストラ・アンサンブル金沢の指揮研究員として、また、日本とヨーロッパにおけるオペラ・プロダクションでも経験を積んだ。2020年11月東京二期会オペラ劇場公演「レハール作曲『メリー・ウィドー』」を指揮。1987年青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で指揮を高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年には、ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでクリスティアン・エーヴァルトとハンス・ディーター・パウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。



©Felix Broede

City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞及び「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月からは第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任し、京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上盛和

ご来場のお客様へ

新型コロナウイルス
感染拡大防止に関する
ご理解とご協力のお願い

- 以下の症状があるお客様はご来場をお控えください ●来場前に検温し、平熱と比べて高い発熱がある方、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状のある方。 ●新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。 ●その他、体調に不安がある方(高齢者や既往歴のある方等、重症化リスクの高い方は、医師の判断や関係機関の情報を確認の上、慎重なご判断をお願いいたします)。
- ご来場される際は以下にご協力ください ●マスクのご着用および咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスクを着用されていないお客様はご入場をお断りする場合がございます。
- ご自身の顔(目、鼻、口など)を触る行為にお気をつけいただくとともに、頻繁に手指の消毒・手洗いをお願いいたします。 ●ホール内でのご歓談は控えさせていただきます。
- 公演当日のホールにおける感染症拡大防止・予防への対応 ●ホール入口では非接触体温計を用いて、すべての来館者様の検温を実施いたします。 ●ホール内の換気より強化し、外気取り入れによる換気を行います。 ●ホール内各所にアルコール消毒液を設置するとともに、手すりなどのホール内消毒を強化いたします。 ●演奏者の間隔、お客様と演奏者との間隔は十分な距離を確保いたします。 ●プログラム等の手渡しでの配布はいたしません。ご自身でお取りいただきますようお願いいたします。 ●出演者・関係者・スタッフは自宅での検温やマスクの着用、手指消毒を徹底します。体調のすぐれないスタッフの場合は、そのスタッフが当日の運営を行うことはございません。 ●スタッフも、お客様へのお声がけのできる限り控えていただくことを、あらかじめご了承ください。